

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに回復している

福岡県の景気は、生産活動が3ヵ月ぶりに前月比上昇するなど、依然として高水準で推移しているほか、個人消費についても底堅く推移しており、総じてみると緩やかに回復しています。

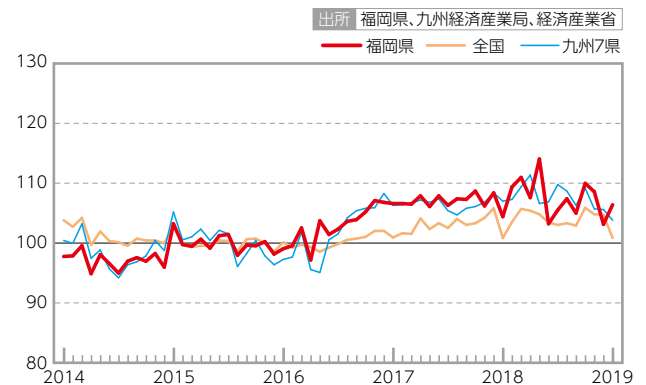
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 高水準で推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は106.4と前月比3.2%上昇しました。

主要業種では、「電子部品・デバイス工業」「鉄鋼業」などが低下したものの、鋼管の生産が増加した「金属製品工業」や「化学工業」は上昇し、全体としては、高水準で推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



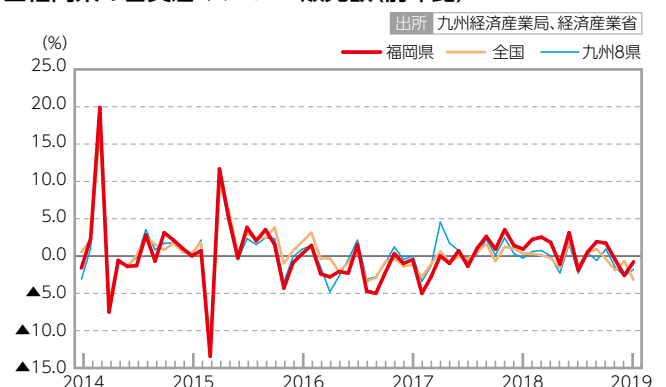
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%減の約578億円となりました。

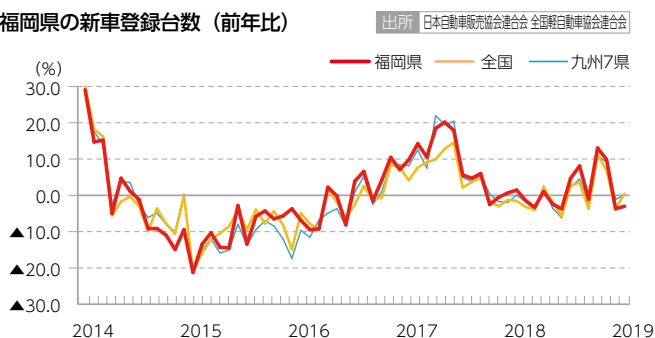
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比0.6%減、「飲食料品」が2.0%減となりました。

また、新車登録台数も前年同月比2.6%減の14,232台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は前年同月比3.1%増の約407億円になるなど、個人消費全体としては、底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)



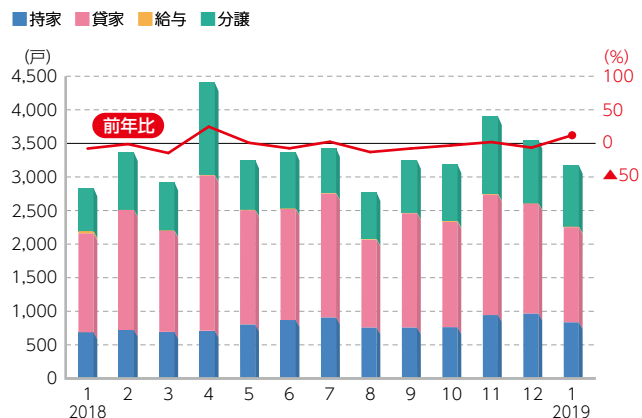
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.9%増の3,199戸となりました。

「貸家」「給与」は前年を下回ったものの、「持家」「分譲(マンション・戸建とも)」は前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



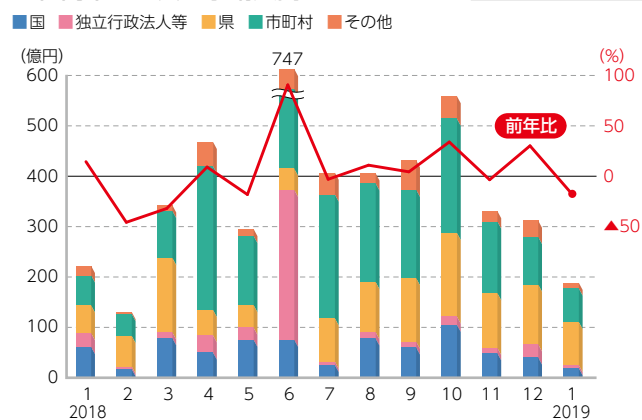
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.4%増の562件、請負額が同15.6%減の約190億円となりました。

発注者別では、「都道府県」「市町村」は前年を上回ったものの全体的に大型工事に乏しく、請負額は2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



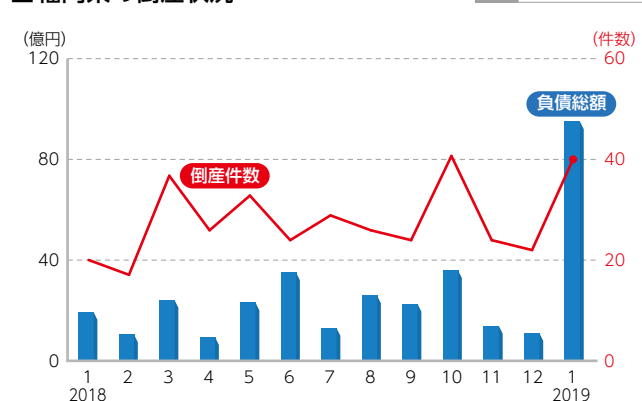
5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を大きく上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20件増加し40件、負債総額は同393.7%増の約96億円となりました。

「経営コンサルタント業」で約5億円、「食品製造業」で約4億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を大幅に上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな回復基調

熊本県の景気は、生産活動は一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しているほか、個人消費についても底堅く推移している等、総じてみると緩やかな回復基調にあります。

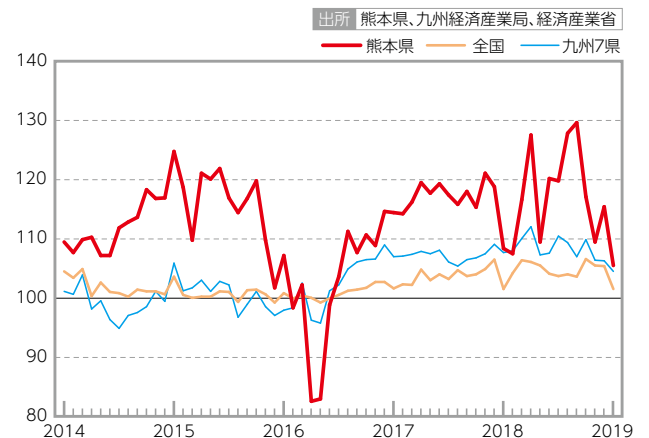
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 一部に弱さがみられるものの、高水準で推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は104.8と前月比8.7%低下しました。

主要業種では、「電気機械工業」「汎用・生産用機械工業」等は低下したものの、集積回路の生産が増加した「電子部品・デバイス工業」「食料品・たばこ工業」等が上昇する等、一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



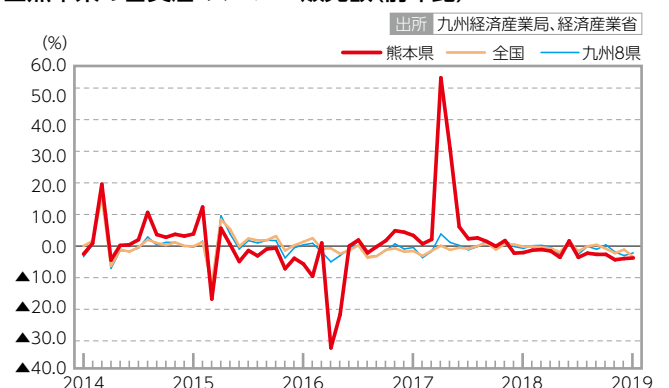
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.3%減の約134億円となりました。

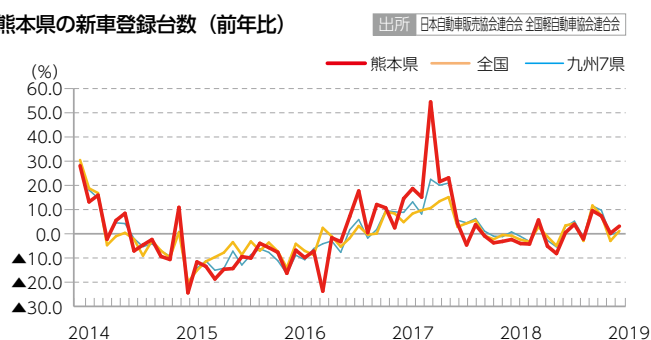
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比6.8%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比2.9%増の5,396台となり、コンビニエンスストア販売額も前年同月比1.6%増の約133億円となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数(前年比)



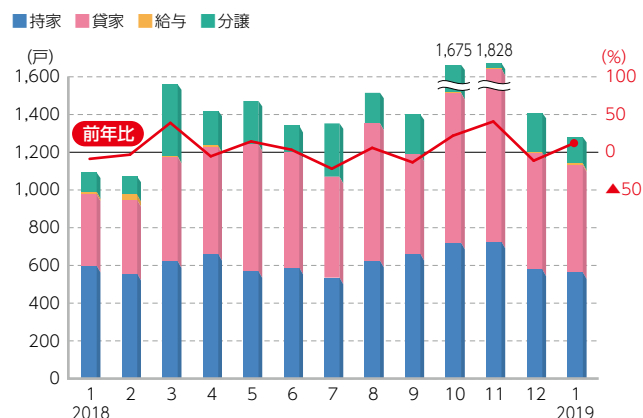
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.8%増の1,289戸となりました。

「持家」「給与」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(戸建)」は前年を大幅に上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



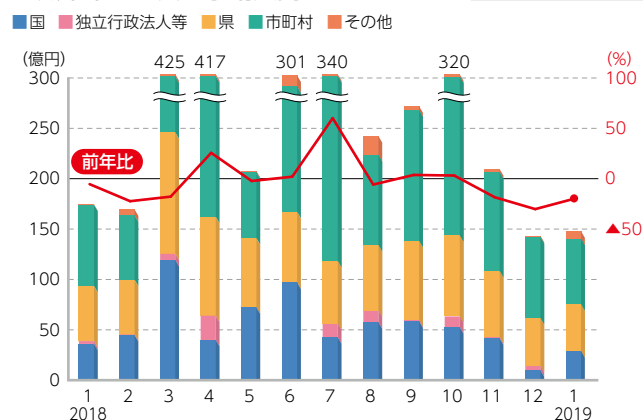
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比12.4%増の436件、請負額が同15.4%減の約149億円となりました。

発注者別では、「その他公共的団体」は前年を上回ったものの、「国」「独立行政法人等」「都道府県」「市町村」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



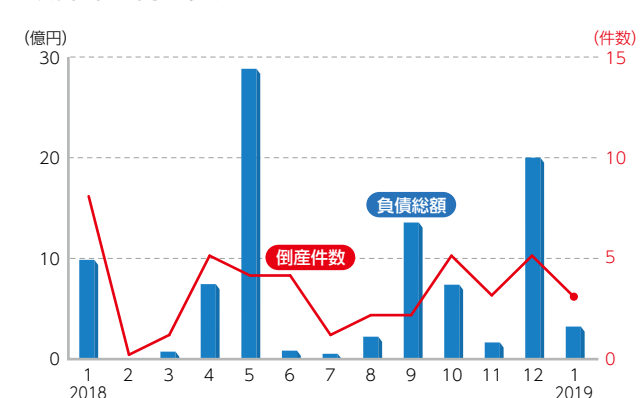
5.企業倒産 | 負債総額は6ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比で5件減少し3件、負債総額は同67.2%減の約3億円となりました。

「建設工事業」で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は、6ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

長崎県の景気は、生産活動に弱めの動きがみられるものの、観光業では、主要観光施設の入場者数が5ヵ月連続で前年を上回っており、個人消費は底堅く推移している等、総じてみると持ち直しの動きがみられます。

(吉武 直紀)

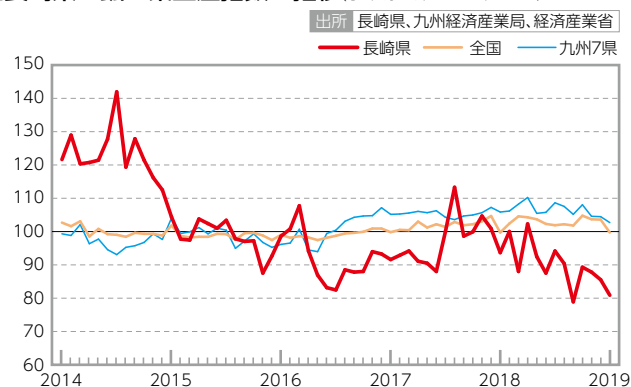
1.生産活動 | 弱めの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は5.4%低下し、81.8となりました(前月比3ヵ月連続の低下)。

主要業種では、煮干の生産が増加した「食品工業」等が上昇しましたが、タービンの生産が減少した「はん用・生産用機械工業」等が低下するなど、生産全体としては弱めの動きがみられます。

県内市場規模成長率が著しく高い観光業において、主要観光施設の入場者数は5ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



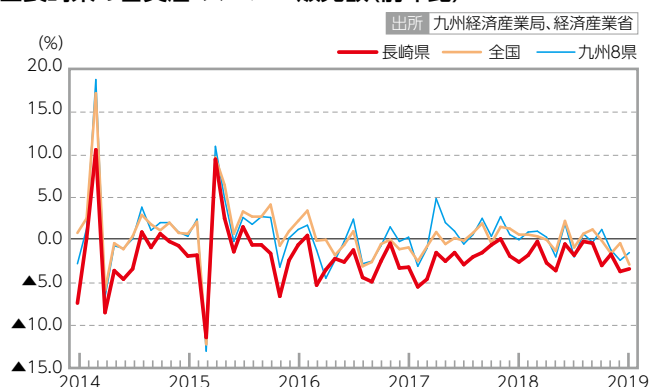
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.5%減の約84億円となりました。

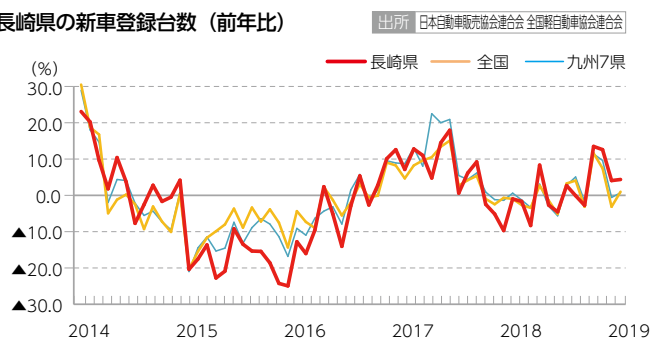
商品別では、「衣料品」が前年同月比9.5%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比4.3%増の3,688台と、4ヵ月連続で前年を上回っており、コンビニエンスストア販売額も前年同月比2.2%増の約88億円となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)





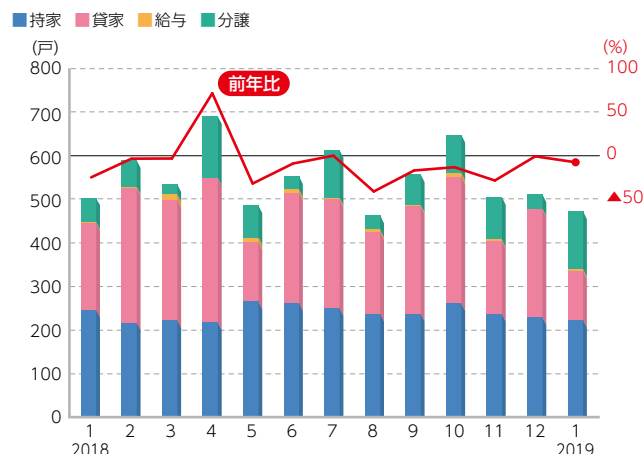
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.1%減の477戸となりました。

「給与」「分譲(戸建・マンションとも)」は前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体では2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



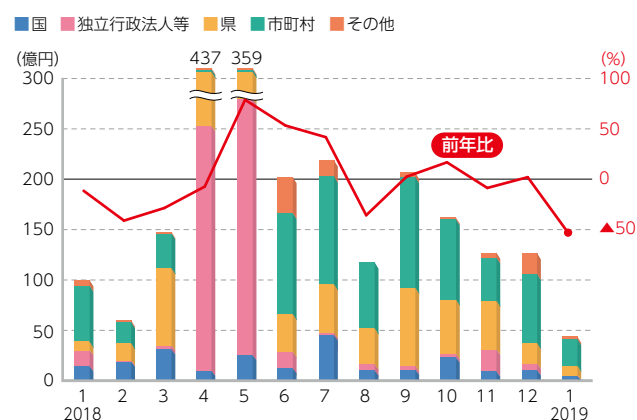
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.1%減の214件、請負額が同56.2%減の約44億円となりました。

発注者別では、「都道府県」は前年を上回ったものの、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



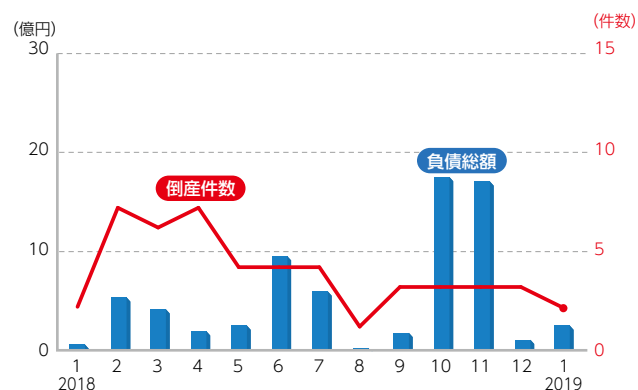
5.企業倒産 | 負債総額は4ヵ月連続で前年を上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比と変わらず2件、負債総額は同313.3%増の約2億円となりました。

「建築工事業」で約2億円の倒産が発生し、負債総額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

佐賀県の景気は、個人消費は一部に弱さがみられるものの、底堅く推移しているほか、生産活動に持ち直しの動きがみられる等、総じてみると持ち直しの動きがみられます。

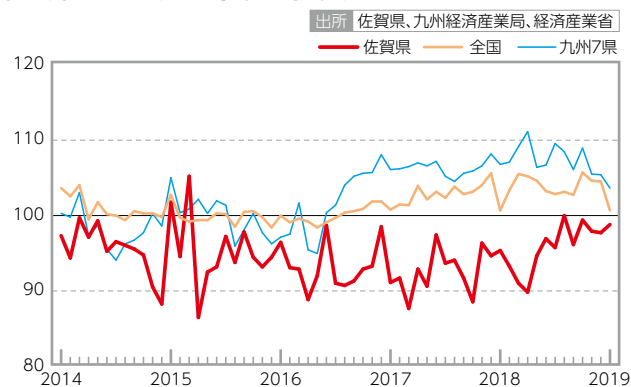
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は98.9と前月比1.1%上昇しました。

主要業種では、「化学工業」は低下したものの、「食料品工業」が上昇する等、生産全体の基調としては、持ち直しの動きがみられる。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100、全国・九州は2015年=100)



2.個人消費 | 一部弱さがみられるものの、底堅く推移している

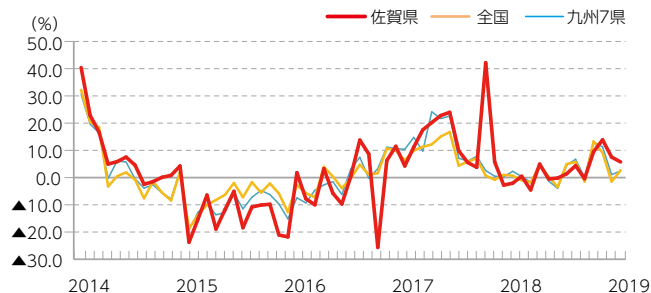
1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比7.5%減の約50億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比11.9%減、「飲食料品」が同6.5%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比4.0%増の2,573台となったほか、コンビニエンスストア販売額も前年同月比3.2%増の約63億円となるなど、個人消費全体としては、一部弱さがみられるものの、底堅く推移しています。

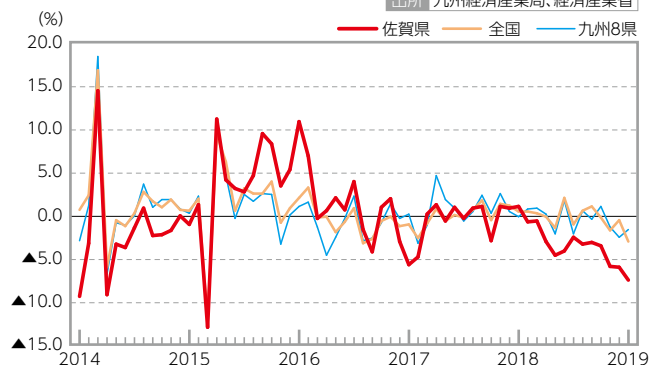
■佐賀県の新車登録台数 (前年比)

出所 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会



■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)

出所 九州経済産業局、経済産業省





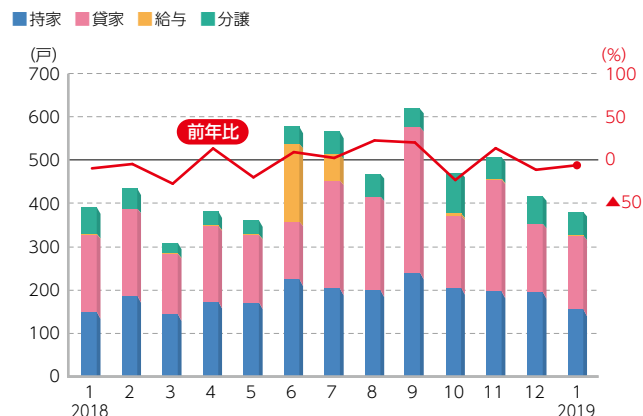
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.3%減の384戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」は前年を上回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



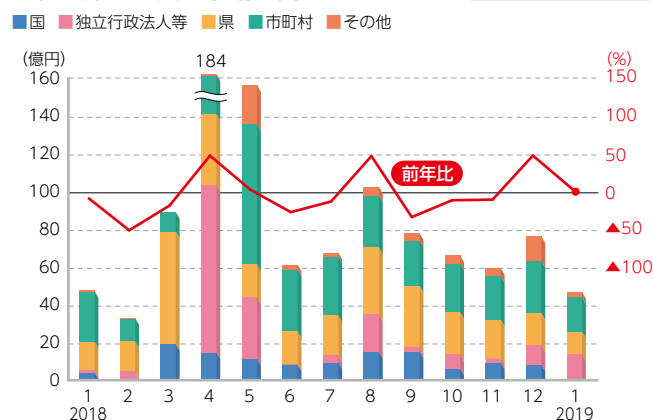
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.2%増の182件、請負額が同1.8%減の約47億円となりました。

発注者別では、鉄道関連の大型工事のあった「独立行政法人等」が前年を大きく上回ったものの、その他の項目は前年を下回り、請負額は全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比で3件減少し1件、負債総額は同94.4%減の約12億円となりました。

負債1億円以上の倒産はなく、倒産件数、負債総額はともに低水準となっています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

大分県の景気は、生産活動に持ち直しの動きがみられるほか、個人消費は底堅く推移している等、総じてみると持ち直しの動きがみられます。

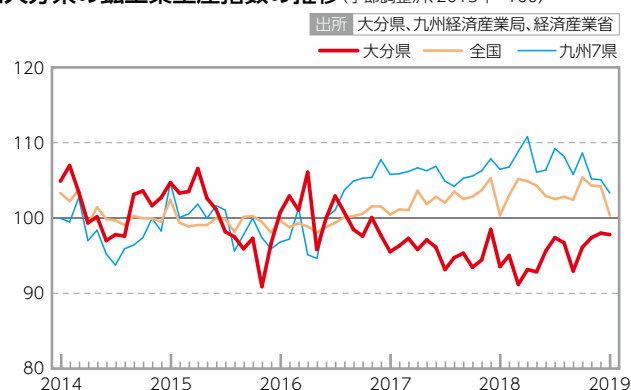
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.2と前月比0.2%低下しました。

主要業種では、「鉄鋼業」「化学・石油製品工業」等が上昇したものの、「窯業・土石製品工業」「電気・情報通信機械工業」等が低下するなど、総合指数は前月比で微減しましたが、引続き持ち直しの動きがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



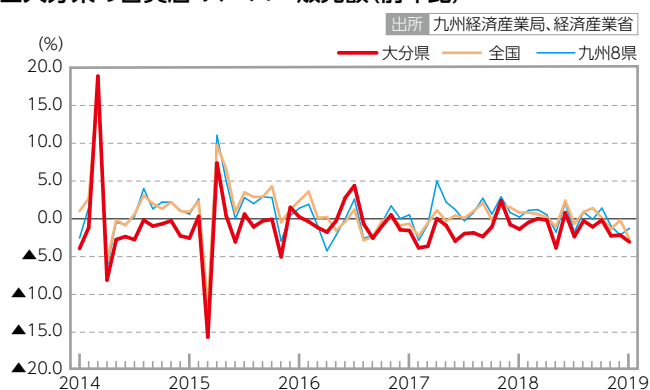
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.4%減の約87億円となりました。

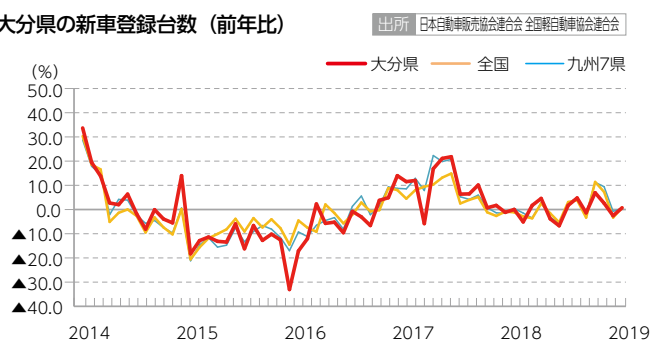
商品別では、「衣料品」が前年同月比4.3%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比0.8%増の3,702台となったほか、コンビニエンスストア販売額も前年同月比3.6%増の約83億円になるなど、個人消費全体としては、底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





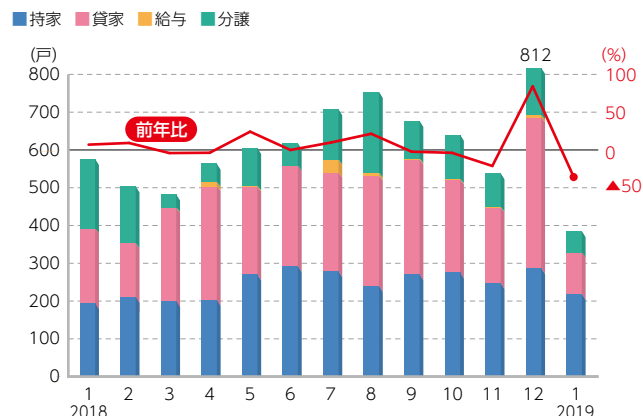
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比33.6%減の388戸となりました。

「持家」は前年を上回ったものの、「貸家」「給与」「分譲（戸建・マンションとも）」が前年を大きく下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



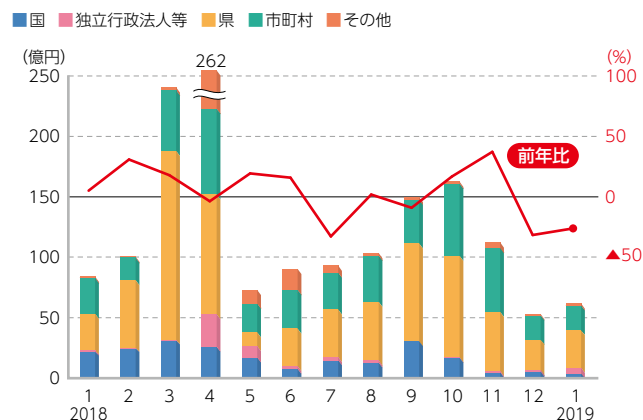
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比23.7%減の235件、請負額が同27.0%減の約62億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「都道府県」「その他公共的団体」が前年を上回ったものの、「国」「市町村」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



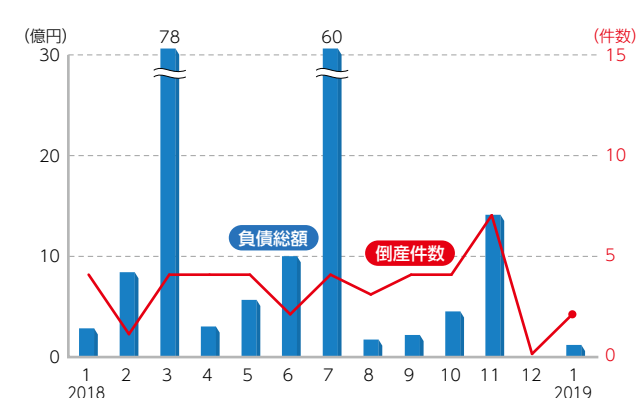
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比で2件減少し2件、負債総額は同56.4%減の約1億円となりました。

負債1億円以上の倒産はなく、倒産件数、負債総額はともに低水準になっています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

宮崎県の景気は、個人消費は底堅く推移しているほか、生産活動は持ち直しの動きがみられる等、総じてみると持ち直しの動きがみられます。

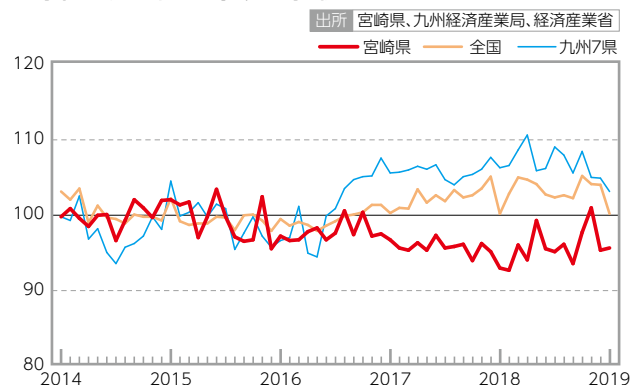
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は96.2と前月比0.3%上昇しました。

主要業種では、「パルプ・紙・紙加工品工業」等は低下したものの、「食料品工業」「化学工業」等が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



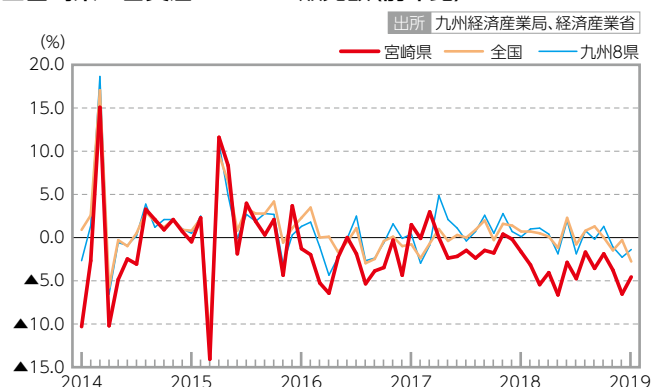
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.8%減の約56億円となりました。

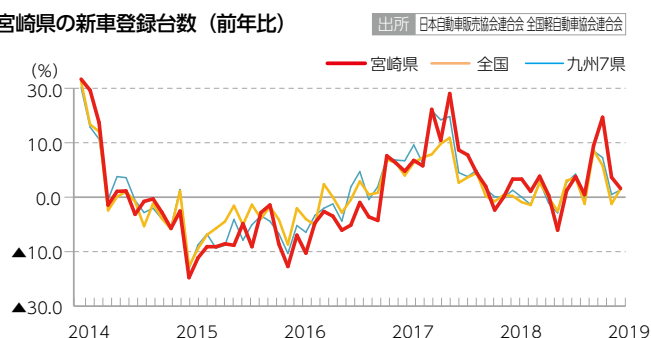
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比8.3%減、「飲食料品」は同4.7%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比1.0%増の3,330台となったほか、コンビニエンスストア販売額も前年同月比3.7%増の約74億円となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)





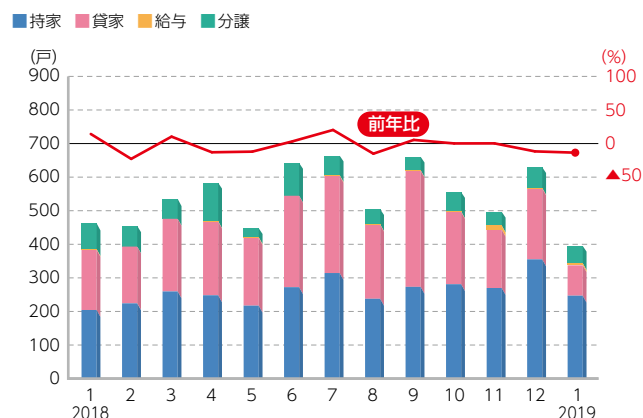
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.3%減の398戸となりました。

「持家」「給与」「分譲(戸建)」は前年を上回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を大幅に下回り、全体でも4ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



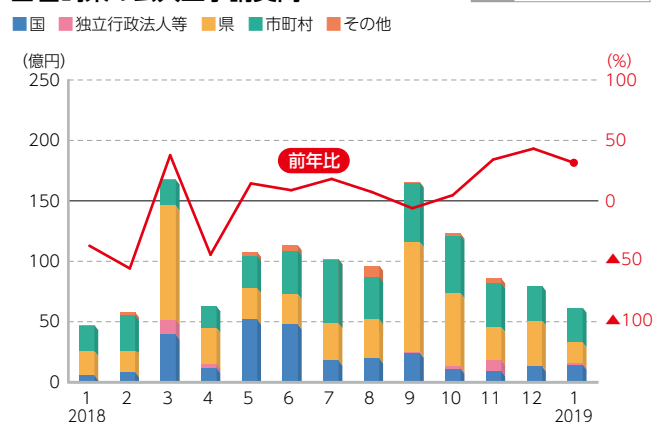
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比10.3%増の342件、請負額が同30.4%増の約62億円となりました。

発注者別では、「都道府県」が前年を下回ったものの、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



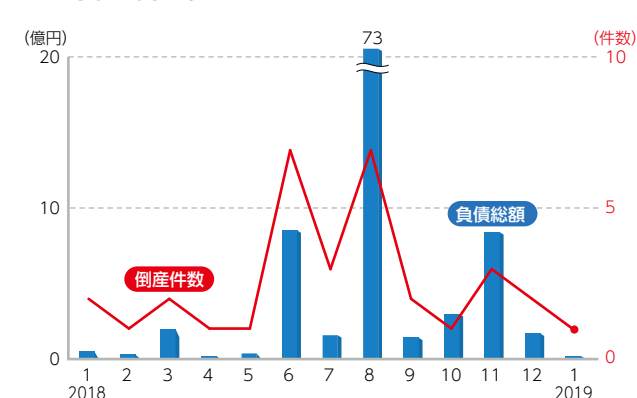
5.企業倒産 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比で1件減少し1件、負債総額は同60.0%減の約20百万円となりました。

負債1億円以上の倒産はなく、3ヵ月ぶりに倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかに回復している

鹿児島県の景気は、生産活動は高水準で推移しているほか、個人消費は底堅く推移している等、総じてみると緩やかに回復しています。

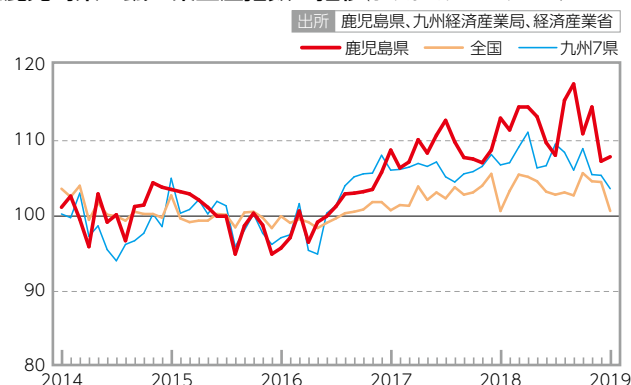
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 高水準で推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は108.1と前月比0.6%上昇しました。

業種別の生産動向をみると、「窯業・土石製品工業」等が低下したものの、「食料品工業」等は上昇し、生産全体としては、高水準で推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



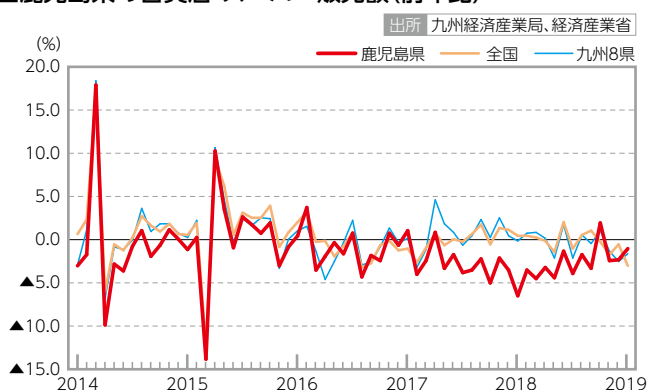
2.個人消費 | 底堅く推移している

1月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.0%減の約115億円となりました。

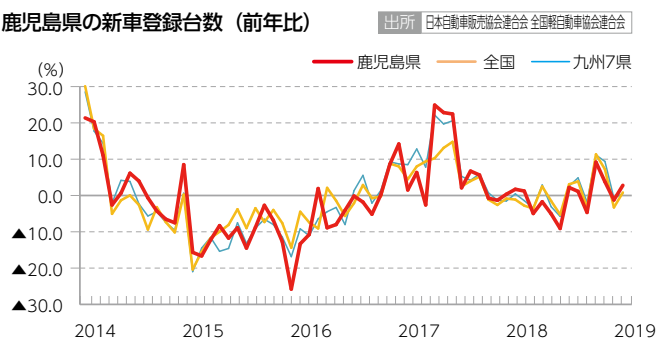
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比5.1%減、「飲食料品」が2.4%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比2.9%増の4,281台となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比)





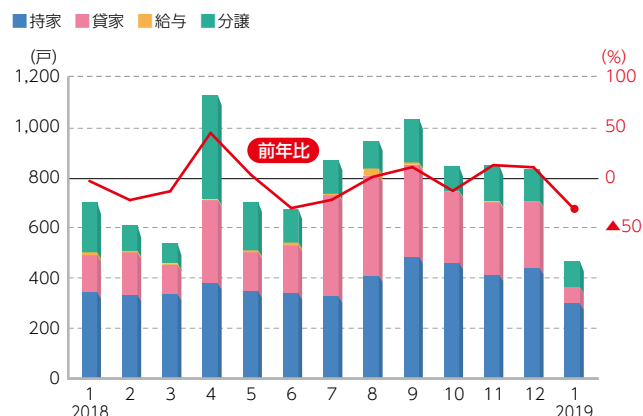
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比34.1%減の469戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲(戸建・マンションとも)」の全ての項目で前年を下回り、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



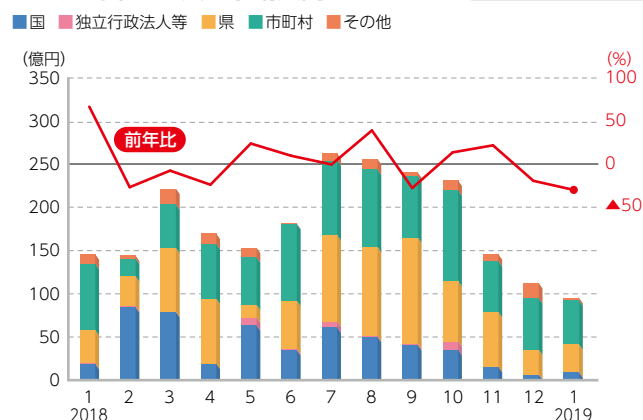
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比10.7%減の310件、請負額が同34.6%減の約96億円となりました。

汚泥再生処理センター建設の大型工事があったものの、全ての発注者が前年を下回り、2ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比で5件増加し9件、負債総額は同176.1%増の約8億円となりました。

負債1億円以上の倒産はなかったものの、倒産件数、負債総額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

